

平成 22 年 10 月 18 日

環境アセスメント学会 御中

東京都千代田区内神田 2-7-10 松楠ビル 4F
(社) 建設コンサルタンツ協会関東支部
環境専門委員会 委員長 布施 孝史
都市計画専門委員会 委員長 民岡 順朗

平成 22 年度 環境講習会開催のご案内

拝啓 益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より協会活動に一方ならぬご協力を頂き、厚くご礼申し上げます。

さて、当環境専門委員会・都市計画専門委員会では、当協会に所属する技術者を対象としまして、毎年その時々話題をテーマとしての「環境講習会」を開催しています。昨今は会員だけでなく、行政関係者や研究者、学生など広く一般に公開し、情報発信に努めているところです。

本年度は、社会的に関心の高まっている生物多様性に着目し「生物多様性とまちづくり」をテーマとして第 11 回環境講習会を企画いたしました。

生物多様性ばかりでなく、まちづくりに興味をもたれている方々には、若手社員や専門外の方にも理解しやすく、役に立つ内容となっておりますので、どうぞお気軽にご参加下さい。

何かとご多用の折とは存じますが、多数ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

敬具

第 11 回環境講習会 『生物多様性とまちづくり』

「生物多様性」とは、あらゆる生物種の多さと、それらによって成り立っている生態系の豊かさやバランスが保たれている状態を言い、さらに、生命の進化・絶滅という過去から未来への変化をまでを含めた幅広い概念です。一般には、生態系の多様性、種の多様性、遺伝的多様性のそれぞれの保全が必要とされています。今ほど都市化が進む前には、日本には、主に里山に代表される環境で生物の多様性が確保されてきましたが、現在、われわれの多くが生活している「まち」では、生物多様性を実感できるだけの環境は限られていると考えられます。

本年 10 月には、地球上の多様な生き物を守るため、世界約 190 の国と地域から約 7,000 名が集まって「生物多様性条約第 10 回締約国会議(COP10)」が名古屋市で開催され、将来に向けた様々な活動目標が示される見込みです。

このたび建設コンサルタンツ協会関東支部の環境専門委員会と都市計画専門委員会が協力し、まちづくりにおいて、今後必要とされる生物多様性に焦点をあて、環境講習会を開催することになりました。そこで本年度は、「生物多様性とまちづくり」として、全国に先駆け生物多様性戦略を策定した名古屋市における行動、民間の企業の活動事例、まちに見られる生物の生息地の評価手法の 3 つの講演を設定し、会員企業はもとより、自治体担当者やまちづくりに関わる研究者・各種機関など幅広い主体を対象に、講師と参加者の質疑応答・意見交換を通じて、参加者が都市部における生物多様性に関して自ら何ができるかを考えていく場を提供することを目的に、下記の要領で開催致します。多くの皆様のご参加を心よりお願い申し上げます。

記

- 1 開催日時：平成 22 年 11 月 19 日（金） 13:00～16:30
- 2 開催場所：北区滝野川会館 大ホール
最寄駅：京浜東北線 上中里駅 徒歩 7 分、山手線 駒込駅 徒歩 10 分
地下鉄南北線 西ヶ原駅 徒歩 7 分
- 3 主催：（社）建設コンサルタンツ協会関東支部 環境専門委員会、都市計画専門委員会
- 4 定員：250 名
- 5 プログラム：（継続教育プログラム（CPD）：建設コンサルタンツ協会認定（予定））

13:00 開会

13:10～ 講演Ⅰ「生物多様性 2050 なごや戦略について」

15:50 名古屋市環境局環境都市推進部 生物多様性企画室長 増田達雄氏

講演Ⅱ「建設業の「生物多様性都市」への取組み」

鹿島建設（株）環境本部地球環境室 次長 山田順之氏

講演Ⅲ「まちづくりにおける生物生息地評価」

東京都市大学 環境情報学部 環境情報学科 准教授 田中 章氏

15:50～ 質疑応答、会場との意見交換

16:30 閉会

-
- 6 参加費：会員 ¥2,000、非会員 ¥3,000、ただし、学生・自治体関係者は無料

- 7 申込方法：添付の申込書にご記入の上、FAX で下記へお申込み下さい。

[申込・問合先]（社）建設コンサルタンツ協会関東支部事務局

東京都千代田区内神田 2-7-10 松楠ビル 4FTEL：03-5297-5951 FAX：03-5297-5952

- 8 締切：平成 22 年 11 月 5 日（金）

ただし、締切日前でも定員に達し次第、締切らせて頂きます。なお、お申し込みをお受けした場合は、特にご連絡はいたしませんので、ご了承下さい。

〈講演概要〉

第 11 回環境講習会「生物多様性とまちづくり」

講演Ⅰ：「生物多様性 2050 なごや戦略について」

講師：増田達雄氏 名古屋市環境局 生物多様性企画室長

講演概要：

COP10 の開催都市となった名古屋市。

名古屋市では、このトップクラスの国際会議を契機にして、自然共生都市としての側面から持続可能な都市なごやを目指していくため、本年3月、地域戦略を策定した。

戦略では、「身近な自然の保全再生」と「持続可能なライフスタイルへの転換」を二つの柱と位置づけ、都市における市民生活と生物多様性の関わりを整理し、2050年に向けたビジョンを市民に対し示している。

今回の講演では、この戦略の概要を説明するとともに、今後、名古屋市が進めていくべき施策の方向性や、既に始まりつつある企業や市民や行政の動きを紹介する。さらに、まだまだ解りにくい生態系サービスの価値を「見える化」する取組みなどを紹介する。

講演Ⅱ：「建設業の「生物多様性都市」への取組み」

講師：山田順之氏 鹿島建設(株) 環境本部地球環境室 次長

講演概要：

名古屋市における生物多様性条約締約国会議(COP10)の開催もあり、国内において生物多様性への関心が高まっている。自然環境に大きなインパクトを与えている建設業も、生物多様性に関するビジネス上の大きなリスクとチャンスが存在している。

鹿島建設は2005年建設業では初めて、生物多様性のガイドライン[鹿島生物多様性指針(2009年改名・改定)]を策定し、生物多様性に配慮した都市づくりの推進や環境教育など、建設事業を通じた生物多様性の保全に率先して取り組んでいる。本セミナーでは、建設業と生物多様性の関係性や行動指針策定の背景や経緯に加え、ニホンミツバチプロジェクト、ヤギプロジェクト、エコロジカルネットワーク評価技術など生物多様性に配慮したまちづくりに関する具体的事例を紹介する。

講演Ⅲ：「まちづくりにおける生物生息地評価」

講師：田中 章氏 東京都市大学 環境情報学部 環境情報学科 准教授

講演概要：

生物多様性保全とは、多様な生物の多様な生息地を保全することである。生物多様性を保全するためには、多様な生息地を物理空間的に保全するしかない。

一方、生物多様性の劣化の主な原因が開発事業であることは、国内でも(生物多様性国家戦略)海外でも(TEEB)周知の事実である。したがって、生物多様性保全を推進させるためには、開発事業を生物多様性配慮型に変えていくことが重要である。

今回は、開発事業による生物多様性への影響を環境アセスメントの中で定量評価し、その結果をわかりやすく市民に公開した先進的事例を通して、その先にある生物多様性オフセット(代償ミティゲーション)のあり方について「里山バンキング」の提言を含めて議論する。

北区滝野川会館 周辺案内図



郵便番号 114-0024

所在地 東京都北区西ヶ原 1-23-3

電話番号 03-3910-1651

FAX 番号 03-3910-1698

駅からのアクセス方法

- ・JR 上中里駅東口(京浜東北線)徒歩 7 分
- ・JR 駒込駅北口(山手線)徒歩 10 分
- ・地下鉄南北線西ヶ原駅徒歩 7 分

〈申込用紙〉

環境講習会「生物多様性とまちづくり」

講習会日時：平成22年11月19日（金）13：00～16：30

北区滝野川会館 大ホール

会社名： _____

所在地： _____

(ふりがな) 参加者氏名	部 署	役 職
()		
()		
()		
()		
()		

〈連絡責任者〉

氏 名： _____ 部 署： _____

TEL： _____ FAX： _____

(社) 建設コンサルタント協会関東支部 事務局： **FAX： 03-5297-5952**